



広報

すずらん 第44号

発行日：平成24年7月1日

発行元：社会福祉法人すずらんの会 理事長 大長義信

編集：広報委員会

〒252-0328 相模原市南区麻溝台7-1-7 TEL: 042-749-8881

URL: <http://www.suzuran.or.jp>

巻頭言 私たちの役割

理事長 大長 義信

社会福祉法人を取り巻く環境の厳しさは、今も昔も変わりはありません。実際にそれをどう感じ取るかは法人の感受性にも依ることでしょう。少子高齢化の進行を背景として、人の考え方や世相までもが急速に変わりつつある中で、地域に根ざしていなければならない私たち法人が、本当に地域住民に認知され地域福祉の担い手として期待を集めている存在になっているでしょうか。まだまだその域には程遠いと云うのが世間からの一般的な評価だと云われています。地域の福祉ニーズにこれだけ応えて来ているのにと云う強い思いもありますが、この様な評価しか得られていない大きな原因は、私たち

が今迄余りにも利用者ばかりを見て来た結果ではないか。地域にありながら、真に地域に溶け込む努力を怠って来た結果だと思われるのです。地域との連携を密にし、さらには雇用や生きがい、そして介護や認知症予防などへの積極的な関与も心掛ける事も必要になります。大事なことはこれらの私たちの実践をつぶさに外に向かアピールして行く事でしょう。利用者の安寧だけを追い求めて行けば事足りりと云う時代ではとうに無くなっているのですが、世間一般の常識を忘れてしまっているケースや自分達を特別な世界と思っている事がまだまだあるのです。

折角、施設を出て地域移行した人たちの受け皿でもある私たちは、持てる資源を最大限活用して課せられた役割と期待に沿う活動をしなければなりません。

法人の今年の大きなテーマの一つとして、地域との連携の深化に取り組んでいます。



民間社会福祉事業従事者等海外研修に参加して

大和市障害者自立支援センター センター長 佐藤 倫孝

平成23年10月12日から21日までの10日間、神奈川県社会福祉協議会主催の海外研修に参加させていただき、オランダ、スウェーデン両国の福祉に関わる様々な施設や機関の視察をしてきました。視察先は、障害者・児童・高齢者・行政機関と多岐にわたり、両国、文化や考え方の違いはありました。好きな場所で自分に合った暮らしをしていくというシンプル且つ熱い思いがヒシヒシと伝わってくる研修となりました。その根底にあるものとして、「人」が常に大切にされているということを実感することができました。「人に興味を持つ」、「人それぞれ違うのは当然。違いを分かりあうために妥協せずに話し合う」というキーワードはどの視察先でも聞くことができ、それぞれの立場で必要な事柄を考え、主張し、必要なことは自分達自身で築き上げてきたという自信の下、障害の有無に関わらず、一人ひとりが自信を持ち、幸福感を感じながら生活しているのだというメッセージを色々な視察の場面で感じ取ることができました。や

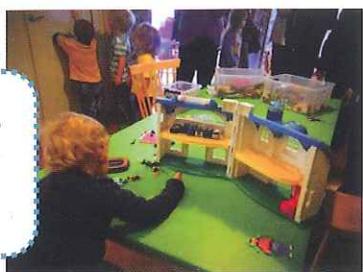


アムステルダム市内

やもすると目の前に前に振り回されがちな日々の中で、「幸せな人生」を送るために、「しっかり聴き、しっかり伝える」という対人援助にとって基本的なことではあるけれど、とても大切なことを改めて実感できる場となり、気の引き締まる思いを抱きながら、帰国しました。研修の機会を与えてくださった法人、長い研修期間の間、協力いただいた皆様、ありがとうございました。



精神障害の方が利用している施設。利用者の方が施設の案内をしてくれました。



視察で訪れた保育所の様子。室内のカラフルな色使いがとても印象的でした。

特集『つながり』

今年度の特集記事は、法人の方針にある、地域交流・地域貢献について、各事業所の取り組みの経緯、現状、効果、今後の方向性を掲載していきます。

～地域社会の一員として～

地域交流・貢献 二地域清掃活動二

施設長 松屋 直人

ワークショップ・フレンドでは、従来から第4土曜日の午前中に、原当麻駅と事業所周辺の清掃活動を行っていますので、その活動の一端を紹介させていただきます。

【原当麻駅の清掃活動】

フレンドが属する麻溝地区社会福祉協議会が企画したJR相模線の原当麻駅の清掃活動に参加しています。駅の改札口から外はJRの管轄ではないということから、十分に清掃が行われておらず、汚れが汚れを呼ぶという悪循環でした。一方的に支援を受けるだけではなく、こちらからも社会貢献すべきとの法人の思いもあり、フレンドの利用者と職員とで参加させていただくこととしました。フレンドの他、地域の方、麻溝小・夢の丘小・光明学園高の生徒さん及び先生方が参加して、15年以上継続されています。

【フレンド周辺の清掃活動】

有難いことに、原当麻駅清掃活動への参加希望者が多くなったことと、フレンド周辺も空き缶のポイ捨て等が多く、決してきれいな状態ではなかったことから、十数年前からフレンド周辺の清掃活動を継続しています。通りかかった方から、「ご苦労様です。」といった声を掛けられる事もあり、活動の励みになっています。

ちょっとした地域貢献ですが、少しでも障害のある人の地域での活動にプラスになればと思っています。私達の日常的な施設外での活動は、必ず地域の方に見られている（見てもらっている）ものなので、通勤時の対応を適切に行う事や、施設外の活動を可能な限り多くする等の地道な日常の活動の積み重ねが、地域に受け入れられるか否かのキーポイントになるのではないでしょうか。



相模原公園外周

地域の方の声

ボランティア団体 インターアクト代表
荒井 達雄様

現在、社会福祉協議会からの援助を受け地域の方や老人会、夢の丘小学校、麻溝小学校、光明学園高等学校、麻溝保育園、すずらんの会と合同で30名～40名参加で活動を行っています。多くの方々の協力があり、この活動が成り立っています。今後も広く浅くあっても継続して取り組んで行きたいと思っています。



光明学園高等学校インターアクト部顧問

廣瀬 震也様

光明学園では、地域の清掃活動を行うインターアクト部があり、登録をしている学生が参加しております。障害を持つ方々とも協力し清掃活動が行えており、地域との繋がりが持てる良い機会になっていると思っております。

日頃から相模原公園の清掃員が掃除をしても、こんなにゴミが集まります。遊びに来る方もマナーを守ってもらいたいものです。

こんなにきれいになりました！



JR 原当麻駅

平成23年度 苦情解決委員会活動報告

委員長 松屋 直人



以前からなのですが、検討案件の傾向として、コミュニケーションギャップに由来するものが多数を占める状況が続いています。伝えたい事を正確に伝えることの難しさだけでなく、タイムリーに情報を利用者やご家族及びホーム等の支援機関に発信することの必要性を痛感させられています。「何故、あの時に連絡しておかなかったのか。」「何故、あの時こちらの意思が正確に伝わっているのか確認しなかったのか。」「あの時、こちらの言ったことが、その様に理解されてしまっていたのだ。」と後で反省させられる事が多く、いったん相手側に不信感を与えると、時間の経過とともに、その修復には非常に多くの労力が必要となるだけでなく、修復できなくなってしまう事態に陥ってしまう事も考えられます。私達の言動に不快感や違和感等を持たれた方の内、助言として私達に伝えいただける方の割合は多くないと思われますので、さらに多くの方々が不愉快な

苦情件数の推移

年 度	苦情・クレーム・要望	みんなの声	合 計
平成21年度	34	4	38
平成22年度	25	5	30
平成23年度	22	7	29

車両の寄贈を受けました

グリーンハウス農園芸班 大塚 孝行



平成24年3月、神奈川県遊技場協同組合様のご厚意により神奈川県福祉事業所協会様を通して、グリーンハウスに新車両が届きました。

車種は、日産キャラバン2500L・10人乗りです。車内は広く天井も高い設計であり、側面ドアはセミオートロック式なので、最後まで閉めずとも自動でロックがかかり、手を挟む心配が軽減され利用者の乗降時の安全性も非常に高い車両となっております。収穫物の運搬は勿論のこと、畑や施設外除草に移動する際の搭乗人数も増やすことが可能となり、作業時間の短縮・効率化が期待できます。

贈呈式当日は、利用者代表で勝俣さん・澤さん（写真）と、滝井施設長、辰口課長、の4名が出席致しました。大々的な式典であり報道の方も沢山来られていた為、利用者の二人は緊張した様子も見られましたが、最後までしっかり式に参加されました。

この場をお借りしまして、感謝の意を表したいと思います。

[平成23年度決算概要]

平成23年度は、収入総額89,877万円（前年度比：88%）、支出総額87,031万円（前年度比：87%）で決算され、収入が提供サービスの変更等による自立支援給付費収入の落込みなどで減少したものの、経費節減に加え新事業所開設の計画が変更となったことなどで支出が抑えられたことで、結果としては次期繰越が2,846万円と健全な結果を出すことができました。平成23年度の収入は、利用期限が満了となる利用者への提供サービスの確保に向けて給付費が不利となるサービスへの変更を実施した事業所（2事業所）があったこと、就職者を輩出後のタイムリーな後補充が適わず定員割れが利用率に影響した事業所があったことなどで自立支援給付費収入等が前年度比90%（58,531万円）となった他、新事業所開設の計画変更に伴う準備費用収入が減額（積立金取崩：計画2,200万円→900万円）となったこと、景気の低迷などで授産収入が前年度比91%（87,702万円）に留まることなどで計画に対しては93%の結果となりました。

また、支出については、各事業所とも東日本大震災に起因した計画節電への取組やその波及的取組を含む諸事の経費節減への取組みの他、新事業所開設の計画変更に伴い開設費用が抑えられた（▲1,300万円）ことなどで、計画に対しては91%の結果となっています。なお、授産作業における利用者工賃については、収入が落込む中各事業所とも目標工賃の確保を前提に諸経費の節減を図りながら取組んできた結果、概ね目標工賃の支払いを達成し、支給総額では計画に対し99%とほぼ目標を達成しています。平成24年度は、利用期限に係る実施サービスの変更が落着いたとともに、児童関連サービスも児童福祉法制度下事業として運営を開始しており、現行制度下におけるすずらんの会の当面の収入構造が確定したと言えます。その中で健全な運営を維持していくための必須条件になるのは、変わらず利用者利用率の維持・向上施策への取組であり、法人としての直近の課題の一つとしては事業所環境の整備（法人重点施策：新施設の建設）によるサービス品質の向上が挙げられます。収入構造が確定した一定収入の中での取組となっていきますが、法人としても23年度より資金運用を開始するなどその準備を進めています。

各事業所におきましては、平成24年度が一定収入のベースとなる年度となることを念頭に自事業所の運営状況に注目しながら、利用者の人権を尊重しつつ、事業目的に沿ったサービス品質の維持向上に努めていって欲しいと思います。

イベントのご案内

◆サロンコンサート2012

平成 24 年 7 月 14 日(土) 14:00~16:00

会場：相模原市立市民健康文化センター1F ふれあい広場

出演者：Style-3!・遠田歌子

◇フェスタすずらん2012

平成 24 年 10 月 27 日(土) 会場: グリーンハウス

◆ピュアハート作品展

平成 24 年 11 月 1 日(木)13:00~

11月8日(木)16:00

平成24年12月15日(土)

平成24年12月15日(土)
会場：相模原市立市民健康文化センター1F ふれあい広場

云場・相模原市立市民健康文化センター 〒253-0051
出演者：ゴスペルクリスイイヤー他

事務長 千田 博伸

社会福祉法人すずらんの会

平成23年度 決算報告

自 平成23年4月1日
至 平成24年3月31日

《法人全体 財産目録》

〔単位：千円〕

資産の部		負債の部	
基本財産	634,564	流動負債	57,690
運用財産	558,809	固定負債	69,300
		引当金	34,392
資産合計	1,193,373	負債合計	161,382
差し引き正味資産			1,031,991

《法人全体 貸借対照表》 [単位：千円]

借 方	貸 方
流動資産	279,944
固定資産	913,429
	(負債合計)
	161,382
基本金	312,267
積立金	392,151
済み財産基金	3,490
繰越金	324,083
(純資産計)	1,031,991
資産合計	1,193,373
負債・純資産	1,193,373

《法人全体 収支計算表》 [単位：千円]

借 方	貸 方
財務支援事業 (預金)支出	88,602
人件費支出	529,299
事務費支出	159,394
事業支出	33,415
減価償却費	22,819
済み積立引当金 計上	4,848
総収入	23,602
総入金支出	24,665
借入金利息支出	871
利用者負担金	41,187
その他	6,393
個人用貸付助成 資金収入	871
個人用貸付助成 資金支出	9,671
総入金収入	99,467
その他の収入	26,782
合 計	870,306
当期繰越金	28,466
合 計	898,772

[障害者自立支援法 障害福祉サービス実施事業所決算]

《貸借対照表》 [単位：千円]

借 方	貸 方
流動資産	250,438
固定資産	721,106
	(負債合計)
	142,097
基本金	293,755
積立金	217,750
済み財産基金	0
繰越金	317,942
(純資産計)	829,447
資産合計	971,544
負債・純資産	971,544

《収支計算表》 [単位：千円]

借 方	貸 方
財務支援事業 (預金)支出	82,976
人件費支出	440,268
事務費支出	127,891
事業支出	32,449
減価償却費	21,984
済み積立引当金 計上	3,762
総収入	10,000
借入金利息支出	871
利用者負担金	41,187
その他	6,391
個人用貸付助成 資金収入	871
個人用貸付助成 資金支出	9,671
総入金収入	32,553
その他の収入	26,782
合 計	726,592
当期繰越金	27,345
合 計	753,937

〔該当事業所〕
 ・ワーカーショップ・フレンド
 ・ワーカーショップ・SUN
 ・グリーンハウス
 ・ワーカーセンターやまと
 ・すずらんの家
 ・ホームすずらん
 ・あいいろ
 ・はねっこ
 ・おひさま

定期採用職員の紹介

グリーンハウス
根本 将道



大和市障害者
自立支援センター
大長 和佳奈



編集後記：今年度の＜特集＞テーマは『つながり』です。地域の方々との交流や地域での活動を、一年を通してお伝えしていきたいと思います。

(広報委員：高橋光千夜・浅井沙央里)